

DENMARK: DESIGN

デンマーク・デザイン

PRESS RELEASE



北欧から、
名作椅子も
せいぞろい。



2019.7.6 sat - 9.1 sun

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし7月15日、8月12日は開館）、
7月16日（火）、8月13日（火）

三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM



企画概要

北ヨーロッパに位置し、バルト海と北海に面した半島と島々から成るデンマーク。近代にヨーロッパ諸国が産業化を進めるなか、職人技の伝統を有するデンマークでは、手仕事に基づく製品の生産に重点が置かれました。とりわけ家具生産においては、1927年に始まった家具製造業者組合展を背景に、何世代にもわたりすぐれたデザイナーが輩出されています。機能性と伝統を重んじ、シンプルでありながら人間的なあたたかみを感じさせるデザインの数々は、デザイン史に残る名作として、いまなお世界中の人々を惹きつけてやみません。

本展では、デンマーク・デザイン博物館の学術協力のもと、ロイヤルコペンハーゲンの磁器をはじめ、ハンス・ヴィーイナ（ウェグナー）、アーネ・ヤコブセン（アルネ・ヤコブセン）ら黄金期のデザイナーによる20世紀の名作家具、現代の製品など約200点を展示します。世界中で愛され続けるデンマーク・デザインの歴史と魅力を、ぜひ会場でご覧ください。

デンマーク王国 について

日本の九州ほどの国土に約560万人が居住しています。日本では『人魚姫』の作者アンデルセン、知育玩具レゴブロックを生んだ国として有名ですが、近年では、高幸福度、高福祉の国としても注目を集めています。国別の幸福度指数のランキングでは一位に上ることも多数。また高い税率ながら、子供から成人までが無償で学ぶことができる教育システム、医療、雇用、介護などに対する国の手厚い支援があります。ヨーロッパのなかでも古くから王政が敷かれ、現在女王マルグレーテ2世が人気を集めています。



みどころ

1. デンマーク・デザインの歴史を概観する初めての展覧会（巡回展）

本展はデザイン大国として知られるデンマークの磁器や家具などをまとめて紹介する、日本で初めての展覧会（巡回展）です。本展では、デンマーク・デザイン博物館の学術協力のもと、18世紀から現代にいたるまでのデンマーク・デザインの流れを概観し、何世代にもわたりすぐれたデザイナーを輩出してきた同国のデザインの歴史と魅力をご紹介します。

2. 名作デザインを体感することができます

本展会期中、デンマークを代表する家具デザイナー、ハンス・ヴィーイナ（ウェグナー）の椅子に座ることができる特設コーナーを設置します。のちに35代アメリカ合衆国大統領となったジョン・F・ケネディ（1917-1963）が、1960年のアメリカ大統領選挙を前に、リチャード・ニクソンとのテレビ討論会で座ったことで知られる「ザ・チェア」をはじめ、パパベアチェア、ミニマルチェアなど、ヴィーイナの名作椅子に実際に腰掛け、写真を撮ることができます。名作椅子の座り心地を確かめてみてください。

3. 所蔵品がレゴになって登場！

デンマーク発祥のレゴにちなんで、三重県立美術館の所蔵品がブロック作品となってお目見えします。名古屋大学レゴ部制作によって、ブロック作品として生まれ変わった橋本平八《猫》、柳原義達《鳩》をご覧ください。



会期中の イベント

講座「デンマークの家具 木の魅力」

デンマークで家具製作を学び、三重県員弁郡東員町で家具工房を営む出口真樹氏をお招きし、デンマーク家具の魅力についてお話しいただきます。

日時：9月1日（日）午後2時—（60分程度）

場所：三重県立美術館講堂

講師：出口真樹（tampere 代表）

定員 150名／参加無料／申込不要

※手話通訳・要約筆記が必要な方は事前にご相談ください。

こどもデザインワークショップ「クルクル あ！」

回転するものが持つ不思議さを使ったもの作りを行います。みんなで1つの作品作りにも挑戦。

日時：8月24日（土）午後1時30分—

場所：三重県立美術館美術体験室

講師：平田哲生（名古屋芸術大学教授）

定員 20名／小学生以上／参加無料／要事前申込

詳しくは美術館ウェブサイトをご覧ください。

特設コーナー

ヴィーイナ（ウェグナー）の椅子に座ってみよう！（要観覧券）

ヴィーイナの名作椅子に座って写真を撮ることができます。座り心地を確かめてみよう。

レゴソフトで遊んでみよう！

会期中、エントランスにレゴソフト（対象年齢 3 歳以上）で遊べるコーナーを設置します。

三重県立美術館の所蔵品がブロック作品になって登場！

デンマークの名作玩具レゴにちなみ、橋本平八《猫》、柳原義達《道標・鳩》がブロック作品となってお目見えます。



名古屋大学レゴ部制作

※会期中、7月24日(水)10時—、9月1日(日)午後2時—、無料の託児サービス(2時間、1-5歳児、要事前申込、先着順、定員10名)を実施します。詳しくは美術館ウェブサイトをご覧ください。



開催概要

2019年7月6日(土)–9月1日(日)

開館時間: 午前9時30分–午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日: 毎週月曜日 (ただし7月15日、8月12日は開館)、
7月16日(火)、8月13日(火)

主催 三重県立美術館

後援 デンマーク大使館

助成 公益財団法人三重県立美術館協会

展示協力 PP Møbler ApS, Kvadrat A/S

企画協力 株式会社プレートラスト

This exhibition is curated by Designmuseum Danmark and Michael & Mariko Whiteway.

観覧料: 一般 1,000 (800) 円 学生 800 (600) 円 高校生以下無料

() 内は 20 名様以上の団体料金

- ・この料金で「中谷ミチコ その小さな宇宙に立つ人」、「美術館のコレクション」もご覧いただけます。
- ・生徒・学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。
- ・障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方 1 名は観覧無料。
- ・県内学校 (小・中・高・特別支援) 等が来館する場合、引率者も観覧無料 (要申請)。
- ・毎月第 3 日曜の「家庭の日」は団体料金でご覧いただけます。
- ・主な前売り券発売所: チケットぴあ、セブン-イレブン他



広報用画像に ついて

本プレスリリース掲載の画像を広報用に提供します。ご希望の方は下記注意事項をお読みの上、ご連絡ください。

図版データをお送りします。

- ・ 作品情報、クレジットを必ず併記してください。
- ・ 掲載物を一部または紙面データを美術館にご提供ください。
- ・ 提供したデータについて、広報目的以外のご使用はできません。
- ・ ウェブサイト上に掲載する場合は、無断転載禁止の旨を明記し、コピーガードをかけて下さい。



1. アーノル・クローウ
《記念プレート 1888》1888年、
塩川コレクション



2. ハンス・ヴィーイナ(ウェグナー)
《椅子 CH24 〈ウィッシュボーン
チェア/Y-チェア〉》1950年、
個人蔵 photo: Michael Whiteway



3. アーネ・ヤコブスン (ア
ルネ・ヤコブセン)
《肘掛椅子〈エッグチェア〉》
1958年 (1965年頃制作)、
個人蔵 photo: Michael Whiteway



4. ポウル・ヘニングスン
《ペンダント・ランプ〈PH コ
ントラスト〉》1958-62年、
個人蔵 photo: Michael Whiteway



5. カイ・ボイイスン《玩具〈サル〉》
1951年、個人蔵 photo: Michael Whiteway



6. オーレ・キアク・クレスチャンスン
《無限連結式ブロック玩具〈レゴブロック〉》
1960年頃、個人蔵 photo: Michael Whiteway

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 高曾由子 (こうそ・ゆうこ)、太田聡子 (おおた・さとこ)

〒514-0007 三重県津市大谷町 11

Tel: 059-227-2100 Fax: 059-223-0570 E-mail: kosoy00@pref.mie.lg.jp (高曾)